

3 1章 MCGグループがめざす姿

22 2章 持続的な成長戦略

23 執行役・執行役員一覧

24 経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づく実行計画

31 CFOメッセージ

事業戦略

34 ビジネスグループ所管メッセージ

35 スペシャルティマテリアルズ

39 産業ガス

40 **ヘルスケア**

41 MMA

42 石化・炭素

43 チーフサブプライチェーンオフィサーメッセージ

Innovation

44 CTOメッセージ

45 イノベーション戦略

47 知的財産戦略

デジタル

48 CDOメッセージ

49 デジタル戦略

52 チーフストラテジーオフィサーメッセージ

53 経営方針の社内浸透

56 3章 ESGの強化

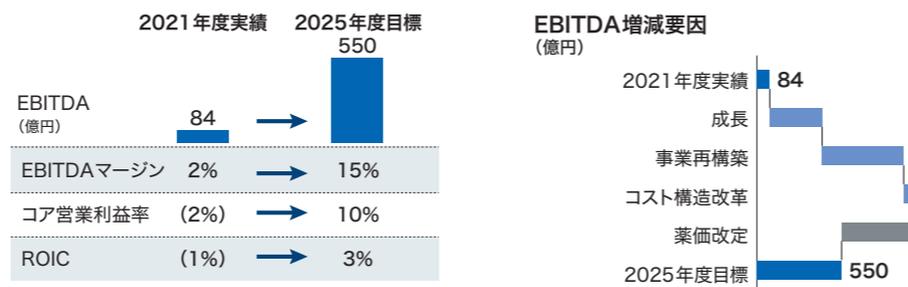
95 4章 財務・非財務情報

事業戦略

ヘルスケア

パイプラインの強化と製品の価値最大化へ

2025年度目標の達成に向け「日米を中心とした重点製品の価値最大化」「開発・販売におけるパートナーシップ強化とアライアンス構築」に注力します。2022年度は新型コロナウイルスワクチンなどを開発していたMedicago Inc.の事業から撤退するなど、事業を再構築しました。中枢神経、免疫炎症、がん領域に研究開発費を集中し、パイプラインの強化と製品の価値最大化をめざします。



重点戦略

- 革新的な研究開発プロセスによるプレジジョンメディシンの実現
- 希少疾患に特化したイノベーション開発と新たなパイプラインへの継続的な投資
- 開発・販売におけるパートナーシップの活用

SWOT分析

<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品事業における新薬創出力</li> <li>中枢神経、免疫炎症、糖尿病・腎など重点領域でのプレゼンス</li> </ul>	<p><b>強み S</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル展開の遅延</li> </ul>	<p><b>弱み W</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なヘルスケアソリューションの提供</li> <li>技術進展による創薬の多様化</li> <li>アンメット・メディカル・ニーズの存在</li> </ul>	<p><b>機会 O</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創薬成功確率の低下</li> <li>研究開発費の増加</li> <li>医療費抑制策、ジェネリック医薬品の市場参入</li> </ul>	<p><b>脅威 T</b></p>

ALS患者さんに新たな選択肢を

筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応症とするエダラポン経口懸濁剤が、2022年5月に米国、11月にカナダ、12月に日本、2023年5月にスイスで承認されました。

エダラポン経口懸濁剤は、エダラポン点滴静注製剤「ラジカット」(米国名:「ラジカヴァ」)と同一の有効成分を含む製剤です。注射による痛みや投与のための通院など、ALS患者さんの負担を軽減するため開発を進めてきました。これまで、投与経路は点滴静注に限られていましたが、新たな選択肢が加わりました。



領域	注力活動	対象疾患	主な市場	MCGグループの主な成長製品	主な開発パイプラインの上市計画			
					2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期以降
中枢神経	開発・販売	ALS 遅発性ジスキネジア	米国、日本	ラジカヴァ ジスバル	MT-1186 ALS(経口懸濁剤)(米国、カナダ)	MT-1186 ALS(経口懸濁剤)(日本) <sup>※2</sup>	ND0612 パーキンソン病(グローバル)	MT-0551 重症筋無力症(日本)
					MT-5199 遅発性ジスキネジア(日本)			
免疫炎症	開発・販売	炎症性腸疾患 赤芽球形プロトポルフィリン症	米国、日本	ステラーラ MT-7117				MT-0551 IgG4関連疾患(日本) MT-7117 EPP、XLP(グローバル)
糖尿病・腎	販売	2型糖尿病 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病	日本	マンジャロ カナグル	TA-7284 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 <sup>※1</sup> (日本) MP-513 2型糖尿病(中国)		TA-7284 OD錠 2型糖尿病、2型糖尿病合併する慢性腎臓病 <sup>※1</sup> (日本)	
がん	開発	希少がん	米国、日本	MT-2111				MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(日本)

※1 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く  
 ※2 スイスで承認取得